

山協ニュース

岩手県山岳協会
第172号
平成23年9月22日発行
long-distance.jp/sangaku/

協会創立70周年記念 『県山協』昭和16年創立から70年の年輪 いよいよ11月5日(土) 記念式典・祝賀会を開催

昨年から実行委員会を組織して準備を進めてきました、岩手県山岳協会創立70周年記念式典は、来る11月5日(土)午後2時から、盛岡市 サンセール盛岡で記念式典、午後3時から祝賀会を開催します。式典では、日本山岳協会神崎会長、県体協達増会長、関係市町村長を始め、加盟団体、県内スポーツ団体、協会名誉会員、顧問、参与、指導員を始め役員等多くの関係者の出席が予定されています。当日は、功労表彰、国体、インターハイ優勝者への体育功労表彰、協会事業協力者へ感謝状が贈呈が予定されるほか、アトラクションでは、盛岡さんさ踊りが披露されます。

協会会長名で、案内状を送付していますので、今年は、東日本大震災で厳しい環境にありますが、少しでも元気に、希望のある明日へ向けて、登山を通じて、一步一步前進するための大事な節目の式典としたいと思いますので、ご多用のこととは思いますが、多くの皆様のご臨席をお願い申し上げます。

協会創立70周年記念 「ヨーロッパアルプス・モンブラン山群一周」 事業多くの成果を挙げて無事帰国

協会70周年記念事業の一環として実施したヨーロッパアルプス「モンブラン山群一周ツールドヨーロッパ遠征登山」は、滝田 章(悠々山の会)さんを隊長に、佐々木忠夫、佐々木幸子、佐々木のり子、佐々木作枝、菊池淑子、蛇口良子、及川トミ、欠端良子、佐藤誠の各隊員の参加のもと7月21日から31日の11日間の日程で実施しました。

一行は、23日から登山行動に入り、当日は、標高1700mのバルム小屋宿、翌日は、小雪混じりの

天候のなか登山を開始1870mのモツテ小屋に泊まる。

25日は、快晴の朝を迎え、つづら折の道をゆっくり進み、遠くにモンブランを眺めながら10時35分フランスとイタリアの国境に着く。雪もなく2258mのエリザーベツタ小屋着。小屋でのイタリア料理は格別。

26日は、6時間の行程。天気も良く周りの山々がくっきりと見える。途中、岩手県山岳協会の旗を掲げて記念写真撮影。15.50に宿泊地、2062mのエレーナ小屋着。



27日は、イタリアとスイスの国境を越える。小雨模様のなか、お昼過ぎフェレに到着。28日は、小雨模様のなか出発。徐々に陽がさしてくる。牛が戯れる牧歌的な風景を楽しみながら高度を上げる。今日の宿「ルレードウ・モンブラン」に到着。

29日は、朝から快晴。標高差900mを登り2192のコルを経由してリフト、ゴンドラ、バスを乗り継いでシャモニーに到着し登山行動を無事終える。全員で、レストランで、打上げパーティを行う。みんなの顔には、山行の充実感と安堵感がみなぎる。

30日は、ジュネーブを経て帰国の途につく。31日予定通り盛岡着。全員元気に家路に着く。(詳細は記念誌による。)

第3回評議員会を開催

本年度3回目となる、岩手県山岳協会評議員会は、9月19日(月)午前10時30分から盛岡市の岩手県体育協会会議室で開催されました。会議には評議

員の浅沼昭男氏、岩戸賢次郎氏、小笠原正雄氏、小野寺光義氏、久世一彦氏、大坊孝男氏、千葉洋一氏、波岡浩氏、村上伸男氏の出席を頂き、執行部からは、高橋会長、鈴木副会長、武田理事長、佐藤副理事長、小山事務局長、佐藤指導部長、山口登普及部副部長が出席。

諮問議題は、協会 70 周年記念式典の際の功労表彰、体育功労表彰、感謝状贈呈者についてご審議頂き、協会関係、地域山岳貢献、国体、インターハイ優勝選手、監督、そして協会活動への協力者等表彰者の決定を頂きました。

二順目岩手国体開催に向けて

平成 28 年開催予定の二順目岩手国体については、縮小国体等様々な角度から開催に向けて、検討が行われています。協会としては、震災前にはリード競技施設の改築が決定し、着手寸前でした。現在、震災のため予算執行が凍結されています。

県体育協会からの縮小についての検討調査については、リード競技施設については当初計画どおり、国体基準に合致するよう現施設の改修をお願いする事しています。なお、ボルダリング施設については、仮設での開催しなるため経費等について、盛岡市との協議を重ね、予定通りの岩手での開催に向けて関係機関に要請していくこととしています。

なお、二順目岩手国体については、6 月 29 日高橋会長が、岩手県体育協会を訪問し、達増会長に復興国体として、予定通りの開催するよう文書で要請しています。

第 38 回東北総体開催 (2 年連続岩手開催) 全種別山口国体の出場権獲得

東日本大震災の影響で、今年の主催県の宮城県をはじめ東北各県からの要請で二年続けての開催となった東北総合体育大会山岳競技会は、7 月 29 日から 31 日の 3 日間県営運動公園登攀会場で開催され、東北六県から選手、監督と役員 200 名が参加し、天候にも恵まれ予定通り開催することができました。

開催にあたっては、宮城県が主催、運営等については本県が実質的に担当しました。

今年は、成年男子は、全県国体出場となっているため、予選参加はありませんでしたが、一時は東北での開催が危ぶまれていましたが、協会役員を始め

関係者の協力で開催できました。その後、宮城県山岳連盟濱田会長から感謝の手紙が届いています。

大会での、本県選手の成績は、次の通りです。昨年に引き続き二年連続総合優勝と全種別の山口国体出場権を獲得しました。山口国体での活躍が期待されます。

種別	リード	ボルダリング	総合
成年女子 選手 畠山千怜 立花里実 監督 畠山 晃	1	1	1
少年男子 選手 田島 蘭 田島 泰 監督 小野寺訓	1	1	1
少年女子 選手 熊谷彩香 熊谷遥香 監督 土村啓明	2	2	2

県別総合 1 位岩手県 (102)、2 位福島県 (76.5)
3 位山形県 (64.5)、4 位秋田県 (54.0)
5 位宮城県 (48.0)、6 位青森県 (15.0)

2011 鞍掛山トレイルランニング大会開催

今年から会場を、滝沢村の鞍掛山周辺に移して開催された 2011 鞍掛山トレイルランニング大会は、9 月 4 日 (日) 心配された台風による雨も小康状態となり、晴れ間のなか 42 名の選手と 11 団体 (盛岡 RCC、翌檜、日本山岳会岩手支部、巖鷲、滝沢村山岳協会、岩手アルペローズ、玉山会、盛岡山想会、高体連、JR 盛岡、矢巾山好会)、31 名の役員の皆さんの協力を頂き、15.2km、標高差 520m のコースで開催されました。



開会式には、協会顧問の柳村典秀滝沢村村長も駆けつけていただき、激励のことばをいただきました。

コースは、相の沢キャンプ場を発着に、馬返し登山口から鞍掛山山頂へと標高差のある厳しいコースで、熱戦が展開されました。

各通過地点には、通過制限時間が設けられ、1名だけが途中制限時間オーバーでタイムアウトになった以外は、44名の選手が完走しました。選手の健闘を称えたいと思います。

今回は、大会日程の設定が高校の行事や近隣のマラソン大会と重なる等開催時期や事前PRのあり方等反省材料もありましたが、会場を移しての第一回大会としては、大変貴重な大会となりました。来年以降も同会場での継続開催を計画しています。

来年は是非皆さんも参加してみてください。なお、本大会の開催に当たっては、滝沢村役場、滝沢村山岳協会の皆さんのご協力を頂きました。ありがとうございました。

成績は次のとおりです。

◆一般男子 (49歳以下)

1位	柴田 良幸	滝沢村	1:16:41
2位	田村 直也	青森市	1:19:41
3位	小野寺弘治	滝沢村	1:20:34

◆一般男子 (50歳以上)

1位	佐々木 功	盛岡市	1:22:57
2位	佐藤 誠	都南山岳会	1:39:45
3位	穴澤 義次	矢巾町	1:45:12

◆高校男子

1位	川野 創平	盛南刈一部	1:20:15
2位	橋本 遼	盛南刈一部	1:26:20
3位	村田 彪我	盛南刈一部	1:30:40

◆一般女子

1位	小野寺右佳	滝沢村	1:27:34
2位	奥 きぬ子	盛岡市	2:03:48
3位	土樋 三起	雫石町	2:20:16

◆高校女子

1位	吉田 遥	盛南刈一部	1:37:47
2位	伊藤 智美	盛南刈一部	1:47:18
3位	畑 知佳	盛南刈一部	1:49:50

初の加盟団体交流会を開催

加盟団体間の交流を深めようと、今年から新たな事業として企画した岩手県山岳協会加盟団体交流会は、9月3日(土)午後3時から鞍掛山登山口の相の沢キャンプ場で開催されました。



会場には、盛岡RCC、翌檜、日本山岳会岩手支部、巖鷲、滝沢村山岳協会、岩手アルペローズ、玉山会の7団体22名の方が小雨

模様のなか集合、開会の頃は小雨も上がり、高橋会長から加盟団体間の情報交換や会越えての山行等時代に即した活動が求められている等の挨拶のあと、参加者から所属山岳会の紹介等を行い、四戸寛次郎協会顧問の発声で乾杯。

懇親会では、地元滝沢村山岳協会角掛喜美夫会長等多くの方々から提供頂いた、自慢の地酒を飲みながら、夜遅くまで山の話で盛り上がりました。是非来年も開催し、交流を深めたいと思います。

北東北インターハイで大活躍 盛岡南高校 準優勝(女子団体) 黒沢尻工業高校 第3位(男子団体)

北東北インターハイでの登山競技が青森県八甲田山系と岩木山で8月9日から13日開催されました。岩手県代表の女子団体の盛岡南高校(選手 熊谷彩香、才川芽衣、熊谷遙香、山本理彩、監督 土村啓明)が準優勝、団体男子の黒沢尻工業高校(選手 触沢強志、古谷佳倫、地主耕平、飯塚拓也、監督 小野寺 訓)が第3位に、入賞するなど大活躍しました。

最近のインターハイでの活躍は、平成11年の岩手インターハイでの平館高校の男子縦走優勝、千厩東の男子団体3位、盛岡四の女子団体の準優勝、そして平成21年の岩手高校の男子団体優勝とこれまでも、立派な成績を収めています。

安全登山の基本的技術や基礎体力、知識等を競う大会での上位入賞は、山岳岩手の地に着いた取り組みの結果でもあります。選手監督の活躍に大きな拍手を送りたいと思います。

準優勝の盛岡南高校の熊谷姉妹は、今度は10月の山口国体の本県代表選手でもあります。活躍を期待したいと思います。

沢登り・岩登り講習会 兼指導員研修会南白沢で実施

今年の沢登り・岩登り講習会兼指導員研修会は、8月7日(日)雫石町の南白沢を会場に実施しました。参加者は、佐藤 誠(都南)、土井祐之(北上)、西館正治(アルペン)、諏訪木秀夫(北上)、盛合敏男(福岡)、田沼政司(RCC)、渡辺美智子(アルペン)の7名。7時30分滝の上温泉駐車場集合。

開講式を行い出発。早速アブの大群に襲われる。程なくF1到着。滝の下部の丸太を渡り取り登り口に付く。シャワークライミングを楽しみながら高度を上げる。F5(10m)左壁にハーケンを打ち足し、出口でのスリップに、注意しながら慎重に登る。諏訪木が、後続のため出口上部に、ボルトを一本セットする。地図で、慎重にルートを確認し藪こぎの末、13時30分千沼ヶ原に出る。天気も良く、稜線上の散歩を楽しみながら、乳頭山の肩から白沼を経て長い下り坂を下る。15時30分、滝の上温泉で閉講式を行い無事解散した。

今回は、経験豊富なメンバーでしたが、沢登り技術を向上させるためには、最高の講習会であった。次回以降、もっと多くの指導員の方々に参加して頂ければと思います。各山岳会の皆さん、是非参加して下さい。

山口国体の山岳選手団に 声援をお願いします。

第66回国民体育大会「おいでませ！山口国体」山岳競技は、「君の一生けんめいに会いたい」をスローガンに、10月1日から4日まで山口県山口市で開催されます。本県は、昨年度ボルダリングで準優勝の畠山千怜選手をはじめ、4種別すべてにエントリーしており、活躍が期待されます。

なお、総合開会式で東日本大震災復興応援(岩手・宮城・福島)炬火リレーが行われ、成年女子の畠山千怜選手が岩手県の代表炬火走者として出場する。釜石市の新日鉄釜石製鉄所「高炉の火モニュメント」から採火された炬火「岩手復興の火」は、宮城・福島・山口県の炬火と集火され炬火台に運ばれ点火されます。この総合開会式の模様は、9月30日NHKで放映予定です。是非ご覧頂き、応援をお願いします。なお、本県選手団は次の通りです。

★成年男子

選手 長谷川健太 (有)ゴウジュウゴ

坂本 大輔 (有)共同工建

監督 畠山 晃 黒沢尻北小学校

★成年女子

選手 畠山 千怜 (株)十文字キョカンパニー

立花 里実 日本生命花巻営業部

監督 小山 勝稔 西和賀高校

★少年男子

選手 田島 蘭 黒和尻工業高校3年

田島 泰 黒和尻工業高校2年

監督 小野寺 訓 黒和尻工業高校

★少年女子

選手 熊谷 彩香 盛岡南高校3年

熊谷 遙香 盛岡南高校3年

監督 土村 啓明 盛岡南高校

国体には、高橋会長、武田理事長、佐藤指導部長、植田登山普及部長等が、「がんばろう 岩手」、「がんばろう 東北」の復興応援の「のぼり」をもって応援に駆けつけます。

親子登山教室開催!! 今年も感動のドラマ

毎年好評をいただいている「ジュニア登山教室 in 岩手山2011」は、今年も、8月5日と6日の二日間、総勢36名の参加のもと実施しました。参加者は、県内各地から小学生15名、保護者12名で7時30分馬返し集合。開校式のあと、チーフ指導員の出堀宏明協会名誉会員の指導で登山開始。

今回は、小学生グループと保護者グループの二班に分けて登る。11時15分、五合目到着。親子それぞれお昼ご飯とする。13時05分、八合目小屋に到着。やはり保護者の方に遅れが出る。コマクサ、イワブクロを見ながら山頂を目指す。



15.00 岩手山に登頂。親子での山頂は、きっと一生の思い出となるでしょう。みんな笑顔である。

16.10 八合目避難小屋着。17.20 ベランダで夕食。夕食は、スタッフが作ったチラシ寿司、から揚げ、フルーツヨーグルト等山の上での夕食にしては豪華版である。夕日を見ながらのんびりした時間を過ごす。周りが暗くなる頃、花火を楽しむ。

二日目は、4時42分のご来光で始まった。素晴らしい夜景に、子ども達も保護者も感動。朝食はカレー、味噌汁とメニューも豊富である。朝食が終わると全員で、トイレと避難小屋の掃除を行う。

8時記念写真を撮り、下山開始。11.05 全員無事馬返し到着。子供達に登山教室終了証書、登頂記念手拭い、バッチなどの記念品を植田登山普及部長から交付する。その後、滝沢村特産のスイカをみんなで頂く。参加の皆さんから感謝の言葉を頂き解散する。

「阿部陽子の里山スケッチ 岩手の山 150」 発刊

盛岡 RCC 所属、日本山岳会会員の阿部陽子さんが、平成 17 年から盛岡タイムスで連載してきた「阿部陽子の里山スケッチ」が「岩手の山 150」として発刊されました。岩手の主な山 150 を実際に踏査し、遠くからスケッチし、版画で表現し、そこに住む人の声を拾い、文化や山にまつわる言い伝えを交え、更にはルート図まで添え、登山ガイドブックとしてはもちろん、故郷の山の風土記としても楽しめる本です。是非一読してみてくださいは如何でしょう。一冊 1500 円



岩手山の記念切手発行

日本各地の様々な名山を題材としたシリーズの第 1 弾として、特殊切手「日本の山岳シリーズ第 1 集」が販売されます。東日本大震災復興応援の意味合いもあり、今回のシリーズ第 1 集には、「小岩井農場から見た紅葉の岩手山」が図案化されています。9 月 22 日から販売されます。

当協会からの情報提供により、前日本山岳協会会長田中文男さんの監修で作成されました。希望される方は、最寄りの郵便局等でお求め下さい。

第 5 回常任理事会

8 月 31 日(水)、岩手県体育協会会館で 22 名の出席で行われた。

報告・協議事項

- (1) 38 東北総合体育大会報告
- (2) 創立 70 周年記念事業海外登山報告
- (3) 国体募金について
- (4) 7/2-3 県民体育大会・国体予選会報告
- (5) 2011 鞍掛山トレイルランニング大会について
- (6) 8/7 沢登・岩登講習会・研修会報告
- (7) 8/5-6 ジュニア登山教室報告
- (8) 岩手山八合目避難小屋管理について
- (9) 夏休み親子クライミング・ボルドリングスクール報告
- (10) 北東北インターハイ報告
- (11) 10/1-4 山口国体選手監督について

第 6 回常任理事会

9 月 19 日(月)、岩手県体育協会会館で 17 名の出席で行われた。

報告・協議事項

- (1) 70 周年記念事業に係る被表彰者の推薦

経過報告

- 7/21(木)-31(日) 70 周年海外登山モンブラン山群
- 7/29(金)-31(日) 38 東北総合体育大会
- 8/3(水) 第 4 回部長会
- 8/5(金)-6(土) ジュニア登山体験
- 8/7(日) 沢登り・岩登講習会兼研修会
- 8/9(火)-13(土) 北東北インターハイ
- 8/20(土) クライミング認定会②
- 8/25(木) 71 国体市町村・競技団体連絡会議
- 8/31(水) 第 5 回理事会
- 9/1(木) スポレク祭打合せ

- 9/3(土) 加盟団体交流会 相ノ沢キャンプ場
- 9/4(日) 2011 鞍掛山トレイルランニング大会
- 9/7(水) 70周年記念事業実行委員会について
- 9/8(木) 岩手山八合目避難小屋常駐(木～日)
- 9/13(火) 71 国体縮小開催検討会議
- 9/19(月) 第6回理事会・第3回評議員会

今後の予定

- 9/23-25 高体連登山基礎講習会(後期)
- 10/1(土)-4(火) 山口国体
- 10/6(木)-8(土) 第47回岩手県高等学校新人大会
- 10/10(月) クライミング認定講習会③
- 10/10(月) 岩手山八合目避難小屋常駐終了
- 10/22(土)-23(日) 岩手山八合目避難小屋終い
- 10/23(日) 第8回ボルダリング大会
- 11/2(水) 第6回理事会